



▲ナスの苗を定植する村田さん

西条町で園芸作物を栽培している村田香奈さん(37)は、今年からナスの本格出荷に挑戦します。3人の子育てとの両立に奮闘しながら、安定した農業経営を目指します。

村田さんはもともと神戸市の会社に勤め、車の輸出入に携わっていました。出産を機に広島県にUターンし、7年程前からメダカを飼育して販売していました。父が空き家バンクを利用して同町に家と農地を購入したことをきっかけに、2023年3月に就農。70aで野菜の栽培を始めました。



ナスの本格集荷に挑戦 「西条町」村田 香奈さん



就農1年目は東広島市園芸センターの講座やJAグループ広島島の営農基礎研修などを受講。近所のベテラン農家にアドバイスをもらいながらオクラやキュウリ、ニンジン、枝豆、サツマイモなどを栽培してJA産直市「とれたて元氣市」となりの農家店や「となりの農家」高屋店、黒瀬店に出荷してきました。

昨年は、新規生産者を育成するJAの夏秋ナス栽培塾に参加。8カ月間、ナスの栽培を学びました。今年5月中旬に中長ナスの「筑陽」の苗200本定植。JAの助成事業を活用して日射比例型拍動式かん水システムと誘引用のステンレス製支柱を導入し、省力化や適期かん水にも取り組みます。

トラクターや管理機などの機械作業も自分でこなしています。猛暑での作業など大変なこともあります。自然豊かな環境で働けることや、自分で時間を組み立てて仕事ができることに農業の魅力を感じています。

村田さんは「家族との時間も大切にしながら、まずは品質の良いおいしいナスを作り、安定した出荷を目指したい」と力を込めます。

地域の情報をお届け!



広島中央トピックス



絆を深め元気な地域を 女性部通常総会

JA女性部広島中央地区本部は4月14日、JA高屋支店で令和7年度通常総会を開き、管内9ブロック23支部の代表ら31人が出席しました。今年度は、JA女性組織3カ年計画『「あい♡」からはじまる「元気な地域」をみんなの力で』の実践初年度。「助けあい♡」「学びあい♡」「育てあい♡」を重点テーマに、絆を深めていくことを申し合わせました。女性部の渡邊美恵部長は「みんなが元気で活発な地域をつくっていきましょう」とあいさつをしました。



▲フレイル予防についての講演

総会後は、東広島市医療保健課の保健師と管理栄養士を講師に招き、フレイル予防や今後気を付けたい食事について学びました。



園児が野菜定植を体験 大和支店ふれあい委員会

JA大和支店ふれあい委員会は5月12日、三原市の大和認定こども園の園児7人を対象に、夏野菜の定植体験を行いました。食農教育活動の一環。園児は、JA営農指導員に教わりながらピーマン、ナス、オクラ、プチトマトの苗をプランターに植えました。

園児は水やりをして生育を見守り、夏野菜のピザを作って味わう予定です。岡田昭記代園長は「食育はもちろん、地



▲営農指導員に教わりながら苗を植える園児

域の人とのつながりを大切にしていきたい」と話しました。



水 稲

6月からの管理について

6月に入り、ほとんどの圃場で田植えが終わったことと思います。これからは梅雨の時期を迎え、気温と湿度が上昇します。圃場の見回りなどを行ない、稲の生育状態や病害虫の発生に注意しましょう。

今月は、分げつ期の管理と、この時期の病害虫について紹介します。

◆分げつ期の水管理

分げつ期は、田植え後から始まり、茎の本数が段々と増えてきます。稲

には有効分げつ(穂になる茎)と無効分げつ(穂にならない茎)があり、安定した収穫を確保するには有効分げつを確保しなければなりません。

有効分げつ期は田植え後約1カ月で、この時期は根が伸び、茎数が増えていきます。この時期の水管理は水をためたままにせず、落水と入水を繰り返す「間断灌漑」を行ないます。土壌中へ酸素の供給と根の発育を促進して過剰な分げつを抑えてください。

落水は足跡に水が残る程度にします。また、稲の葉先が黄色に変色する「赤枯れ症」が発生した田は「間断灌漑」を行ない、土中のガス抜きをしましょう。ガス抜きにより早目に落水した田では除草剤の効果が切れている可能性があるので後発雑草を繁茂させないよう後期除草剤の使用も併せて考えましょう。

近年、「硫黄欠乏」による「赤枯れ症」と同様な症状が見られますので、お近くのアグリセンター営農指導員にご相談ください。

◆中干しの効果と程度

中干しにより還元状態(酸欠状態)になった水田の土中に空気を入れ、根の健全化を図ります。

中干しを始める時期は、茎数を数えることで判断します。目標茎数の8割確保できていれば開始します。目標茎数は品種ごとに目安がありますので参考にしてください。

目標茎数(中干し開始) 本数/1株

コシヒカリ	20	22
あきさかり	23	25
中生新千本	23	25
あきろまん	20	22
恋の予感	20	22

中干しの期間は2週間程度が目安ですが、生育状況に応じて調整してください。中干しを終了する時期は、出穂の1カ月前が目安です。

幼穂形成期に中干しを行なうと地上部に生えている根を傷めたり、高温期では品質低下の原因ともなります。出穂1カ月前(中干し終了後)になったら湛水状態(水を張った状態)と落水状態(水を落とし、干した状態)

態)とを数日おきに繰り返す間断灌漑を行なって適度に酸素を供給し、根の力を落とさないようにします。強過ぎる中干しは根の切断を招くなどの弊害があるため注意してください。

中干しの効果は次の通りです。

- ①土中に酸素を供給し根の活力を高める。
- ②土中の有害物質(硫化水素・メタンガス)を排除する(ガス抜き)。
- ③稲の肥料分である窒素の吸収を抑え、無効分げつの発生を抑制する。
- ④田面を固くすることで収穫期の落水を適期に行なうことができる。

◆病害虫について

●いもち病

稲の全生育期間において発生する病気です。稲の水滴にいち病菌が付着することで発生します。気候、気温、湿度の気象条件も大きく関係しており、特に梅雨時期に注意が必要です。

発生は、田植え後「葉」↓「枝梗」↓

野菜

夏野菜の管理

夏野菜の定植も終わり、6月から
は整枝や誘引などの管理が中心にな
ります。近年、異常気象で出荷用の
野菜栽培や家庭菜園での管理が難し
くなりました。今年も夏は猛暑と予
報されています。このような時こそ
基本を大切にして管理しましょう。

「穂」の順に蔓延しますので発見した
ら直ちに防除してください。品種に
よって耐病性の強弱もあり、葉色が
濃い稲なども注意が必要です。

●紋枯れ病

中生品種や茎数が多くなる品種へ
の発生が目につきます。また、菌が越
冬すると言われており、昨年、紋枯れ
病が発生した田は、特に注意してく
ださい。

※農薬は「水稻栽培ごよみ」をご覧く
ださい。また、各アグリセンターの
営農指導員にご相談ください。

◆病害虫対策

夏野菜は、気温が高いと生育が旺
盛気味になります。枝葉が茂り過ぎ
ると病害虫の発生要因となるので、
混み合う枝は早目に取り除くと傷口
が小さくなるので株を痛めなくて済
みます。

夏野菜の病害のほとんどが根腐れ
などの過湿に由来します。これから
梅雨時期になりますので特に排水対
策は万全にしておきましょう。圃場
の外周に排水溝を掘ったり、畦を高
くしたりして対策しましょう。
病気は予防が大切です。虫や食害
を発見した時に害虫防除をしまし
ょう。手で捕れる虫は捕りましょう。農
薬は、使用方法・使用基準を守り上手
に使用しましょう。

◆トマトの管理

原産地は南アメリカ西部の砂漠地
帯ですので乾燥には強いです。
誘引は1本仕立てにし、支柱にハ
の字結びで軽く結びます。わき芽は
小さいうちに、晴天日の午前中に取
り除きます(可能な限り)。1果房3
〜4果に摘果します。

追肥は第1果房がピンポン玉程度
になった時、2回目は第3果房がパ
チンコ玉程度になった時、その後は
20日間隔で行ないます。

◆ピーマンの管理

乾燥、過湿ともに嫌う、とてもデリ
ケートな野菜です。

最初に枝分かれした部分からの下
のわき芽は全部除去します。生育が
進み、茎葉が繁茂してきたら内部の
混み合った小枝を間引きます。ピー
マンは伸びた枝元をひねるとポキッ
と簡単に折れるので気付いた時にこ
まめに行ないましょう。大きくなっ
たら、支柱に吊り下げるかネット支
柱を張り、倒れないようにします。



◆ナス

ナスは開花した花のほとんどに実
がつきます。したがって、ナスの管理
は樹勢を衰えさせないことです。土
壌水分は湿潤に保ち、肥料は切れな
いように細かく追肥を与えます。

果菜類でも同じですが、樹勢を回
復させるために一番効果が高いのは
こまめに収穫することです。

◆主な病害虫

●アブラムシ

ほとんどの野菜に寄生し、病気を
媒介します。発見したら早目に防除
をしましょう。

●ヨトウムシ・コナガ

果実を食害し、多大な被害を与え
るので発見したら早目に対応しま
しょう。

●ウリハムシ

成虫はオレンジ色の甲虫で幼虫は
根を食害し、成虫は葉を食害します。

●ベト病

梅雨時期特有の病気で高温、多湿
時に多発する傾向があります。予防
が大切です。



東広島市による「地域グループ営農」団体への支援制度のお知らせ

【対 象】 集落内の3戸以上かつおおむね3ha以上の集積を行ない、共同利用、共同活動、地域農業の継続に取り組む団体で、JAひろしまが認定するグループ。

【認定に関する問い合わせ先】 JAひろしま 広島中央地域営農経済センター Tel(082)423-5913

【申請方法】 申請書(東広島市役所農林水産課に設置、市ホームページからもダウンロード可)に必要書類を添付して提出。 ※必ず事業実施前に申請してください。

事 業	内 容	補助金額	締 切
地域グループ 営農支援事業	共同利用する農業用機械などを購入するための経費の一部を補助します。	対象経費の2分の1 (上限200万円)	6月30日(月)
農地保全・景観形成 推進事業	農地等の畦畔・法面に植栽するための経費の一部を補助します。	対象経費の3分の2 (上限90万円)	随 時
有害鳥獣防護さく 設置事業	有害鳥獣による農林産物の被害を最小限に抑えるため、防護さくを設置する経費の一部を補助します。	対象経費の3分の2 (上限25万円)	随 時
地力増進支援事業	堆肥投入に係る経費の一部を補助します。	堆肥購入費の1/2以内1t 当たり3,500円が上限 (上限額50万円)	随 時

※農地保全・景観形成推進事業及び有害鳥獣防護さく設置事業は、地域グループ営農団体以外も対象になります。ただし、補助要件が異なる場合があります。

アグリセンター
棚卸による休業のお知らせ

棚卸に伴い、まことに勝手ながら**6月30日(月)**はアグリセンターを休業させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

広島中央地域 アグリセンター
休日のお知らせ

【6・7月】

土曜日・日曜日・祝祭
日は休業します。

肥料や農薬、生活資材をご自宅にお届けすることも可能です。お近くのアグリセンターにご相談ください。

東広島市
園芸センターより

農薬危害防止運動の実施について

農薬を使用する機会が増える6月から8月は、農薬危害防止の重点期間です。
農薬の適正使用・保管管理の徹底について、改めて確認しましょう。

①農薬危害防止講習会

県内各地で開催されます。詳細は広島県ホームページでご確認ください。



②農薬を散布する前に

- ☐ 農薬を使用する場合は、事前に周辺住民の方や近隣の農作物栽培者への周知を徹底する
- ☐ 農薬のラベルを必ず確認する
・適用作物 ・使用量 ・希釈倍数 ・使用時期 ・使用回数

③散布する時は

- ☐ 近接する農作物や住宅地周辺、蜜蜂等への農薬飛散防止対策を徹底する
- ☐ 防除衣、農業用マスク、保護メガネなどの防護装備を必ず着用する
- ☐ 風量や風向き、朝夕の涼しい時間帯を選ぶなど、気象条件に注意して実施する
- ☐ 連続して2時間以上の長時間の作業は避けて、体調に不良を感じた場合はすぐに止める

④散布が終わったら

- ☐ 必ずうがいをし、全身をよく洗う
- ☐ 飲酒を控え、早く寝て体力の回復をはかる
(肝臓の解毒酵素系へ過剰な負担をかけない)
- ☐ 農薬を使用したら、使用年月日、場所、作物、農薬名、使用量、希釈比率などを記帳する

⑤農薬の保管・管理は

- ☐ 食品類と区分して、子どもの手の届かない安全な鍵のかかる場所で保管する
- ☐ 農薬を他の容器(清涼飲料水の容器など)に移し替えない
- ☐ 万一、盗難や紛失の時は、直ちに最寄りの警察署に届け出る

お問い合わせ

東広島市園芸センター

Tel 082-433-4411

